

令和7年度 第1回市長タウンミーティング 概要

○ 日 時：令和7年5月31日（土）15時～16時30分

○ 場 所：秩父市役所3階 庁議室・会議室

○ テーマ：地域医療・病院建設

○ 参加者：122人

○ 意見交換（主な内容）

発言者1：前職は市立病院で勤めていて、今は移住相談の仕事をしています。医療職に特化したアプローチでも移住相談ができるように考えていきたいと思っています。市長や病院の方々の力を借りながら、医療従事者の人数を増やせるように協力したいと思っています。

今後、HCUやPICU（小児集中治療室）なども検討してもらい秩父市でも受けられるとありがたいです。

市長回答：医療職に特化した移住相談も良いことだと思うので、進めていけるようにお知恵を貸していただければと思います。

発言者2：南小学校は建て替えたばかりですが、生徒が少なくなっているので花の木小学校に統合して、南小学校の校舎がそのまま病棟に使えると思うので新しい病院をそこに建てるのも良いと思います。熊谷総合病院のような病院を作ってほしいです。

旧東高校には埼玉医大のような医科大学を作れば、将来的に医師の不足はなくなると思います。

秩父は自然が豊富で精神に優しいので、精神科の運営にも向いていると思います。精神科は高額な機械など必要なく人件費がメインなのでお金が掛からないため経営も安定すると思います。

例えば、ミューズパークに病棟を建てるとか、福祉女性会館を活用して健康医療センターなどを建てるとかも考えられます。市立病院を壊した後の跡地も上手く使えるように考えてもらえればと思います。

市長回答：学校を病院にするというアイデアもあるかと思いますが、やはり病院には病院特有の設計などがあるのではと思っています。建設場所については様々な条件を含めて検討していきたいと思っています。

発言者3：病院建設の答申などを見てわからないことがありました。

病床数は秩父地域内で600床は必要という推計が出ていましたが、新病院も165床にするのかよくわからなかったです。

二次救急は目指すが三次救急は目指さないのですか、それによってはド

クターカーやワークステーション方式のドクターカーなど導入しないのですか。

秩父病院にヘリポートがありますが、新しい市立病院にもヘリポートを作るのですか。今あるものを利用しないと難しいと思います。

三次救急は無理かもしれませんが、ドクターカーはあっても良いのではないかと思います。

職員回答：病床数、機能分担、人員確保など他の病院との連携も検討しています。基本構想の段階では具体的なことは書いていませんが、今年から基本計画を検討する中で連携についても協議していきます。

二次救急、三次救急といった意見もありますが、秩父地域全体として人口的に厳しい部分もありますので、この状況の中でできるベストを見いだしていこうと考えています。

市長回答：私は新しい病院にヘリポートが必要だと思います。秩父地域の中で全ての医療が完結できれば良いですが、それは難しいことなので、解決できないケースについては可能な限り早く搬送できるように、ヘリポートの併設が必要だと思っています。それが可能な場所は限られると思いますので、そのことも建設場所の決め手の1つになると思います。

医療機能として可能な限り皆さんの要望に応じていくということもありますが、何より便利な病院を作りたいと思っています。

便利さの1つは、交通アクセスのしやすさ、病院のついでに買い物や行政の手続きができるなど、そういうことも含めて病院作りをしたいと思っています。

まちづくりの1つの核として病院があると思います。

発言者4：建設候補地は、太平洋セメント跡地が一番良いと思います。

消防署から近い旧東高校や、大野原の総合卸売市場も候補地として聞いたことありますが、太平洋セメント跡地は商業施設も近くて良いと思います。

つむぎ診療所に受診していますが医師が少ないです。秩父地域全体で医師が足りないので医師の確保が必要です。

介護者付きの送迎バスが必要です。シャトルバスか路線バスを誰でも使えるようにしたほうが良いと思います。

市長回答：話に出た3か所は候補地になり得ると思っています。

今回の病院建設は便利な病院にするということで、アクセスの良さは重要だと思っています。

病院建設に合わせて、バスなどの地域公共交通の再編についても検討していくことが必要だと思っています。

発言者5：市立病院では、男性トイレが狭くて車いすが入れないなど患者もスタッフも不便で我慢しています。

食後にはトイレ前に車いすの患者の行列ができているのが現状です。患者や医療従事者などの現場で感じていることと温度差があります。医師や医療従事者と直接ヒアリングしてほしいです。未病の対策、学びの場の設置、自然と触れ合えるなど総合的なクオリティオブライフが高まるように実現できるようにしてほしいです。

職員回答：基本構想の策定の際には、各部門の職員とのヒアリング、会議への出席、アンケート等を実施しました。

基本計画の際には、市立病院内にワーキンググループ等を設置し、今まで以上に医療従事者との意見交換を行いながら検討していきます。

市長回答：クオリティオブライフを高められるようにすることは良いことです。

医療は専門性が高いため温度差は感じています。

私自身も医療従事者の意見を聞く場を設けていきたいと思っています。

発言者 6：感染症対策について、新型コロナウイルスでは医療逼迫等が起きて、患者の受け入れが困難になり、患者を救うことができなかったケースもあるというのは知っています。

病院建設にあたり、平時から感染症に備えるチームを作って、感染症の患者を受け入れる病床の確保や感染症の検査がスムーズに受けられる体制を作ってほしいと思います。

保健医療部に健康危機管理課を設置してほしいです。

新型コロナウイルス感染症で緊急事態宣言が出た時、市民がどう行動して良いかわからなかったのが、情報発信をもっと正確にするべきだと思います。

職員回答：コロナ禍の時には、市立病院の設計が古いため、動線の問題やコロナ患者の受け入れなどで、患者はもちろんですが医療従事者も非常に苦勞し疲弊したと聞いています。

今回の病院建設にあたり、動線の確保など施設面について、感染症に対応できるように計画をしっかり立て、設計することになると思います。対策チームについては、運用的なことになると思いますが、現病院でできること新病院になってできることがあるので、今後の新型感染症への対策は継続するべきと考えています。

職員回答：健康危機管理課を設けたらという話については、感染症の際には、保健センターからどのような行動をとるべきかを伝え周知していましたが、足りない部分もあったと感じています。

感染症の拡大が起きた場合に備え、引き続き考えていきたいと思っています。

発言者 7：若手の医師のお手本になる医師、ロールモデルになる医師が必要です。秩父郡市から医師になっている人は結構いますが戻ってこないですが、どう改善していくのでしょうか。

新病院の建設までに総合診療医、家庭医等の医師を見つけないといけないと思います。

以前は医学生奨学金制度がありました但確保できていない状況なので医師の確保が必要だと思ひます。

高校生等から医療従事者を育てるためにどうのようになしていくか教えてください。

市長回答：新しい病院建設とともに、医療従事者の処遇改善も検討したいと思ひます。

新しい病院を作っても医療従事者を確保できるのかという問題もありますので市単独の病院にこだわる必要はないと思ひています。

広域的な病院、民間の方の力も借りた病院など可能性を広く考えないと医療従事者を確保できないと思ひます。

経営形態は様々な可能性を探っていきます。

地域で長く働く医師を確保するためには奨学金も必要だと思ひます。

医学生奨学金制度を再度検討したいと思ひます。

発言者 8：以前、市議会議会の一般質問で、医学生奨学金も含めて質問がありましたが、議員が現状の確認をただけで終わってしまいました。

その後、質問もなかったし、市からも経過や結果の報告もありませんでした。

今日のような協議もありませんでした。そのようにならないようにしてください。

市長回答：皆さんに結果を報告するなど、伝えていく必要があると思ひています。

発言者 9：現状では路線バスは多分難しいと思ひますので、ライドシェアや乗り合いタクシーなどを走らせるとか、将来的には無人で自動運転の自動車を導入するとかを想定してまちづくりを検討するのが良いと思ひます。

新しい市立病院には開業医が入れる場所を作っておいて、新しく開業したいとか移転したいという医師がいたら入ってもらうのはどうでしょうか。

例えば、眼科や歯科などに入ってもらえば、機能的に総合病院のようになると思ひますし、そういう便利な部分も必要だと思ひます。

市長回答：医療は必ず皆さんに必要なので、それを中心に様々なものを集めていくという考えは重要だと思ひますし、秩父は広いからアクセスをどう確保するのかということがとても重要だと思ひています。

乗り合いタクシーやライドシェアについては積極的に検討すべきです。

今までの考え方だけでは、皆さんの移動手段を確保することは、将来難しくなると思ひています。

今までは自動車プラス公共交通でしたが、この先は今までよりも公共交通の果たすべき役割が必ず大きくなります。

新しい方法が必要です。国も今はタクシー協会と協力してライドシェアを始めようとしています、それを導入する可能性も大いにあると思います。

病院建設と併せて便利さを高めていくのは必要なことです。

診療所の方々に集まっていただくクリニックモールもすごく良いアイデアだと思います。相乗効果になり良いことだと思いますので、前向きに検討していきたいと思います。

発言者 10 : 秩父病院を建設したときの当事者の 1 人でその経験から言うと、このような計画の時に、まずどこに建てるのか場所を決めることです。その場所に合わせて病院の構想が決まっていきます。

場所を決めた後は、駐車場、病棟、外来スペース、手術室、サーバー室など広い面積が必要なものがいろいろとあるので決めていきます。そうでないと計画が早く進まないと思います。

通常 93%の病床稼働率があって黒字化になりますが、現在の市立病院は最近のデータでは稼働率が 70%台になっているので自ずと赤字になります。

ドクターを含めて職員が 90%以上を確保するような意識を持つことと、稼働率に見合った規模の病床数を考えることが重要です。

できるだけ入院患者に入ってもらわないと病院経営は赤字になります。

話を進めるためには場所を決めることが一番大事だと思います。

職員回答 : 建設場所を決めることによって、具体的な諸条件が決まっていくのは正にそのとおりです。

建設場所はまだ内部検討の段階で、これから具体的に協議していくことになりませんが、なるべく早く決められるように努力していきます。

病床稼働率や経営の関係については、ご指摘のとおり部分もあります。

病院建設にあたり建物だけ新しくするのではなく、経営面についても変えていく必要があると感じておりますので、今後の課題として取り組んでいきます。

発言者 11 : 医療法人を経営していますが、今年外部から医師を 3 人確保しました。

地域内の医師にこだわらなくても医師確保のやり方はあると思います。

市長は秩父地域全体の病院と言っている中、市立病院建設となるとスタンスが違うと思います。地域で 1 つの病院を作ろうとしているなら、市立病院という殻を破ってもらわないと駄目だと思います。

建設計画策定委員会の方々は元気がない印象を受けます。

研修医を確保するなら、義理で来る医師ではなく、勉強したい頑張りたいと思って医師が来るようなシチュエーションを作ることが必要です。

医師は最初にお金は求めません。お金じゃなく良い仕事をしたいと思っています。

処遇・待遇の問題ではありません。建物や組織は必要です。この地域に縛り付けないことです。勉強したいなら秩父の外に行って教授でも目指してもらえば良いと思います。

この地域に縛らないことで医師が成長し、良い医師の循環、良い医療従事者の循環を作ることが重要だと思います。

市立病院や秩父地域にこだわらないで、広い視野を持ってほしいです。

広い視野で医師を迎える、そういう概念を持ってほしいと思います。

市長回答：秩父地域全体のための病院を作る決意で殻を破らないといけないと改めて思い、しっかりと実現したいと思います。

処遇だけではないということのを伺えて良かったです。働きがいのある病院を作ることが大事だと思っています。